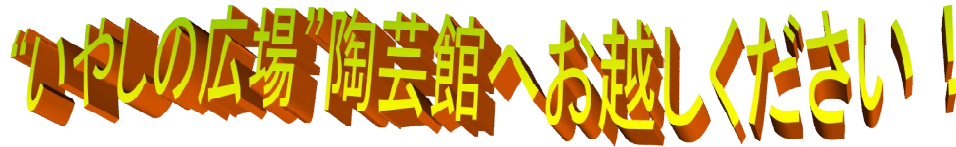


福井県陶芸館(1/2)



施設の特徴

日本六古窯の一つに数えられる越前焼の振興と古い越前焼の保存を目的として、昭和46年に開館しました。(平成22年4月リニューアル)

陶芸館には「見る」資料館、「作る」陶芸教室、「使う」茶苑、「憩う」日本庭園(幽石庭)の4つの施設があります。

資料館

常設展 平安時代末期から現代までの越前焼、水野九右衛門コレクションの越前焼などを展示しています。

特別展 期間中、県内外の優れた陶器をテーマを決めて展示します。

陶芸教室

越前の粘土を使って大人から子どもまで楽しく陶芸を体験できます。

てひねりコース、絵付けコースの体験教室があります。また、電動ろくろコースもあります。

また、各種陶芸講座(体験コース、技術習得コース)を開催しています。

茶苑

越前焼にふれ、使って楽しみ、また日本古来の芸術文化である茶道を普及し、越前焼振興と合わせて、地域文化の向上を図るため設置されました。

48畳敷の大広間のある管理棟と正式な茶事ができる越知庵からなっています。

越前焼の茶碗を使った抹茶点出しを行っています。

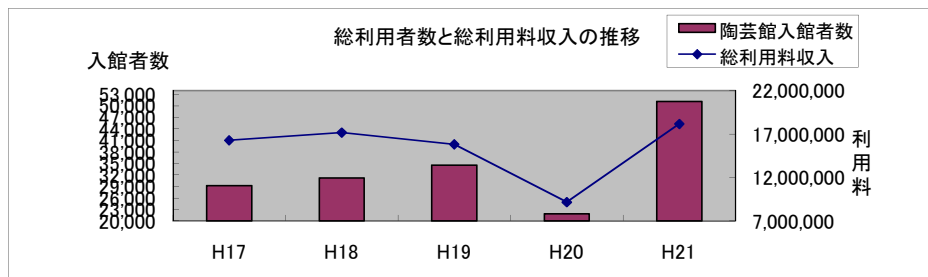
幽石庭

庭の広さは1886㎡、滝の石組みや池の淵石、庭を彩る草木などすべて福井県産のものを使用しています。

所在地	丹生郡越前町小曾原120-61		
設置年月日	昭和46年4月1日		
施設の種類	その他の博物館	施設管理主体	指定管理者 ADKグループ
設置の目的	越前焼を「見る」(展示資料館)、「作る」(陶芸教室)、「使う」(茶苑)の3つの体験により、越前焼の振興を目的とする。		
概要 (構造、面積、主な機能)	鉄筋コンクリート造2階建 延2,188.65㎡ 資料館・陶芸教室・茶苑・日本庭園(幽石庭)		
職員数	指定管理者職員(17人)		

利用状況等 (単位 人)

	H17	H18	H19	H20	H21
陶芸館入館者数	29,200	31,234	34,501	21,834	51,093
(資料館)	7,818	8,410	8,783	4,668	23,843
(陶芸教室)	17,042	18,413	17,910	9,588	15,123
(茶苑)	4,340	4,411	7,808	7,578	12,127



平成21年度の特徴について

- 平成21年4月から、指定管理者にADKグループを指定し、新たな取組みを行っています。(委託期間 26年3月までの5年間)
- 常設展に加え、「日本六古窯作家展」、「甦る炎～越前焼を紡いだ人たち」、「人間国宝 荒川豊蔵展」などの企画展を実施しました。
- 陶芸教室において、通年で実施している「てひねりコース」や「絵付けコース」に加え、「青空絵付け教室」、「親子でつくる泥んこ粘土焼講座」、「電動ろくろ入門講座」などの特別教室や、移動陶芸教室を実施しました。
- 茶苑において、従来の点出し・施設利用に加え、「初心者のための茶道入門講座」、「和菓子の会」など、茶道と関連するイベントを実施しました。
- そのほか、「夏休み親子広場」や「越前水仙デー」などのミニイベントの開催や、旅行ツアーの誘致、県内の小学校訪問など、集客確保に向けた取組みに努めました。

利用状況の推移
近年、利用者は減少傾向にありましたが、利用サービスの向上に努め、平成18年度から旅行者とのクーポン契約による誘客促進事業などを実施しています。平成20年度は、リニューアル工事で資料館・陶芸教室を8月末から休館したため、年間を通しての利用者数は減少しましたが、平成21年4月25日のリニューアルオープン後は集客力が向上し、21年度の利用者数は5万人を上回り、平成19年度より約48%増加しました。

福井県陶芸館(2/2)

行政コスト計算書(平成21年度) (単位 千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	皆減
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	皆減
	賞与引当金繰入	0	0.0%	皆減
	計	0	0.0%	皆減
物にかかるコスト	物件費	107,694	88.1%	372.5%
	維持補修費	0	0.0%	皆減
	減価償却費	14,533	11.9%	117.4%
	計	122,227	100.0%	272.6%
その他	支払利息	0	0.0%	-
	その他	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
合計		122,227	100.0%	103.8%
収入	利用料等収入	0	0.0%	皆減
	一般財源	122,227	100.0%	112.6%

バランスシート(平成22年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	756,700	104.7%	固定負債	0	皆減
うち美術品	177,532	100.0%	うち退職手当引当金	0	皆減
うち土地	296,991	100.0%			
投資等	0	-	流動負債	0	皆減
流動資産	0	-	純資産	756,700	112.6%
計	756,700	104.7%	計	756,700	104.7%

主な指標 (単位: %, 円/人)

	H21	H20	前年比
県民1人当たり有形固定資産額	935	890	105.0
県民1人当たり将来負担額	0	52	0.0
世代間負担率	100.0	93.0	107.5

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>平成21年4月から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託しています。</p> <p>施設の設置が、展示資料館が昭和46年、陶芸教室が昭和47年、茶苑が昭和48年と古く、設置当初の建物の償却が完了しているため、減価償却費の割合が低くなっています。</p> <p>資産のうち美術品の割合が23%をしめています。平安末期から現代にいたる705点の資料を収蔵しています。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>資料館 展示事業として越前焼を中心とした収蔵資料を展示する常設展とテーマに基づく特別展を開催しています。</p> <p>陶芸教室 大人から子どもまで越前焼(陶芸)を体験できるてひねりコース、絵付けコースがあります。電動ろくろを使って製作する電動ろくろコースもあります。</p> <p>茶苑 48畳敷大広間のある管理棟と茶室(越知庵)からなっています。越前焼の茶碗を使った抹茶点出しや各施設の貸出しを行っています。</p> <p>平成20年度にリニューアル工事を行い、平成21年4月25日にリニューアル開館しました。</p>
今後の課題	<p>指定管理者制度導入後、来館者数は増加していますが、一方で陶芸教室への利用者数が減少していることから、利用率向上に向けたより一層の努力が必要となっています。</p>
今後の事業方針、取り組み内容	<p>平成21年度から25年度までの間、指定管理者において、次のような事業、取り組みを行い誘客促進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料館において、企画展を年3回以上実施するとともに、季節に応じて常設展の展示入れ替えを行います。また、新たに、土・日曜日などに越前焼窯元による実演を実施します。 陶芸教室について、従来から行っている手ひねり講座や絵付け講座、電動ろくろ講座などに加え、幅広く陶芸体験をできる機会の充実を図ります。 茶苑について、従来の抹茶の点出しに加え、茶苑を通して越前焼に触れて楽しんでいただけるような様々な企画を行います。 旅行会社と連携した旅行ツアーの企画やクーポン券の発行、ふくい南青山291と連動した情報発信、閑散期における小学校・老人ホーム等に出向いての陶芸教室の実施など、県内外で陶芸館および越前焼のPRを行い、集客の促進を図ります。

(単位 円)

